

## 第3回 総合計画前期基本計画評価市民懇談会 第2分科会

### 会議次第

日時：平成24年2月24日（金）

午後1：30～3：30頃

場所：市役所14B会議室

#### 1 開会

#### 2 議事

##### (1) 分科会意見の取りまとめについて

・・・・・・・・・・資料1

##### (2) 意見交換

#### 3 その他

#### 4 閉会

#### 《 資 料 》

- ・ 資料1 第2分科会意見について
- ・ 別紙 意見一覧（施策体系別）

## 宇都宮市総合計画前期基本計画評価市民懇談会 第2分科会

### 委員名簿

酒井 誠

中村 滋 栃木県建築士会宇都宮支部 常務理事(宇都宮支部青年委員長)

○ 根本 泰行 足利工業大学工学部創生工学科 准教授

増渕 弘子 栃木県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長

三宅 徹治

横尾 昇剛 宇都宮大学工学部 准教授

敬称略・五十音順

( : 分科会長 ○ : 副会長 )

※1：[ ]については最終意見書では削除します。

※2：(その他意見)の掲載箇所については現在調整中です。

## 資料 1

### 第2分科会意見について（案）

市民の快適な暮らしを支えるために

#### 1 脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する

##### （総括意見）

- 「脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する」の基本施策については、今後ますます地球温暖化対策に係る自治体の取組が重要になってくる中、CO<sub>2</sub>排出量等の客観的なデータを踏まえながら、各施策・事業を推進していく必要がある。（横尾委員）
- また、各施策における取組に意識啓発事業などがあるが、各事業に係る具体的なCO<sub>2</sub>排出量削減等の効果を明確化する必要がある。さらに、今後のエネルギー問題を鑑み、エネルギー消費の抑制や再生可能エネルギー導入促進により一層取り組んでいくことが必要である。（横尾委員）

##### （施策の重要性や課題などに関する意見）

###### 環境保全行動の推進

- 市民意識調査結果において、女性の満足度が高いのに対し、男性の満足度は低く、男性より女性の方が環境保全活動に関わっている可能性があることから、今後、企業や小中学校等と連携した男性の環境保全活動への参画に係る取組が重要である。（根本委員）
- 環境保全行動を推進させていくにあたり、「社員が環境保全活動に関わっている会社の表彰制度」や「市内の小中学校で『父親との環境保全活動』を宿題にする」などの取組が考えられる。（根本委員）

###### 地球温暖化対策の推進

- 高効率機器、省エネ機器設置に関する補助等が行われているが、住宅などの建築物全体に係るエネルギー性能の向上、CO<sub>2</sub>排出量の削減に関する取組が必要である。（横尾委員）
- 温暖化対策に係る取組については、取組成果の出現が中長期的であることから、例として「市民の誰もがわかるような、市のエネルギーの数％を賄うような超大型の自然エネルギー発電システムを設置する」「自然エネルギー豊富な市町村と、ニュースになるくらい大量の自然エネルギー電力取引契約を行う」など、取組状況が市民に可視化できるような取組を検討していくことが必要である。（根本委員）

###### ごみの発生抑制、減量化、資源化の推進（3Rの推進）

- 市民のごみ減量化や分別などに係る意識の向上に向け、特に家庭系ごみの排出に密接に関わっている主婦層に、宇都宮市の数年先の見通しが厳しいという現状を知ってもらうことが必要である。（横尾委員）

- 家庭系ごみの排出量もリサイクル率もほとんど変わっていない一方、事業系ごみの排出量は総量・資源ごみの量ともに大幅に減少していることから、家庭ごみの排出量を減少させるための検討課題として、家庭ごみの有料化などが考えられる。
- また、併せて市民が「ごみが出ないような商品」を購入できる環境づくりが重要であり、一定規模以上の小売店に、販売した商品から出る梱包・包装ごみについて、その店で引き取り事業ごみとして処理することを義務付けるといった取組などを検討することが必要である。（根本委員）

#### 廃棄物の適正処理の推進

- 東日本大震災の影響もあり、廃棄物に含まれる放射性物質や大気中及び土壌内の放射性物質の問題が注目される状況であることから、放射性物質への対応を今後の課題として考えることが必要である。（横尾委員）
- 市民意識調査において不満度が高い地域では、不法投棄が減っていない等の問題がある可能性があることから、当該地域について重点的に不法投棄の監視を行うなどの取組が必要である。（根本委員）
- 廃棄物の不法投棄について厳しい罰則を設けるとともに、市や県を跨いで行われる不法投棄には、他市町村・都道府県との密接な連携を図った上で対処し、その取組を市民に周知していくことが必要である。（根本委員）

#### 良好な生活環境の確保

- 東日本大震災の影響もあり、廃棄物に含まれる放射性物質や大気中及び土壌内の放射性物質の問題が注目される状況であることから、放射性物質への対応を今後の課題として取り組むことが必要である。（根本委員・横尾委員）
- 市民は、良好な生活環境が確保されている指標については、満足度が低いことから、その理由を明らかにすることと、その理由に対応する取組を行うことが必要となる。（根本委員）

#### （その他意見）

- 地球温暖化対策に対する市民意識調査結果が判明した時点で、これに対する市の取組を決めるべきであることから、迅速に反映できるよう、個別のアンケート調査や市民満足度のとり方を十分に検討する必要がある。（根本委員）
- 「廃棄物の適正処理の推進」における施策指標について、不法投棄の発生件数は減少していることがわかるが、全体の不法投棄の総量が把握できないことから、指標のとり方を検討する必要がある。（中村委員）
- 市民意識調査の手法について、対象者や設問の設定のなど、一般市民が市の政策を考えるきっかけに活用できるようなものにされたい。
- 評価について、施策目標に対し、市の取組内容の妥当性が見極めにくいことから、市民の意識と市の取組のギャップを把握する必要がある。

- 市民満足度について、宇都宮市全体として一色単にせず、地区別などの属性ごとに分析し、重点的に取組を進めるべきターゲットを絞っていく必要がある。
- 市民意識調査の対象者については、毎年異なるため、経年の満足度を把握するために、一定期間同じ対象者に調査を行うことが必要である。

## 2 良好な水と緑の環境を創出する

### (総括意見)

- 「良好な水と緑の環境を創出する」の基本施策については、都市化の進展や昨今の異常気象などにより、豪雨時の洪水被害に対応できる河川環境の創出や、生物多様性の観点などから、自然環境の保全を進めていくことが必要である。(三宅委員)
- さらに、都市化が進む中、良好な水と緑を創出し、市民が身近に自然と親しめる環境を創出することが大切であることから、「緑の保全・育成」の取組についてより一層推進していく必要がある。(三宅委員)

### (施策の重要性や課題などに関する意見)

#### 快適な河川環境の創出

- 河川水の環境基準評価については、平成13年度から一部未達成の河川が固定化されていることから、具体的な対策が必要である。(三宅委員)
- 「良好な水と緑の環境を創出する」ためには、市が構想する「川づくりがどういうものなのか」を強く打ち出し、それが市民の意向と合致しているのか確認した上で、整備を進めていくことが必要であり、特に、遊泳可能な川に戻すことを目標とされたい。また、開発にあたり、葦原や生態系の保護、環境保全型護岸への切り替えなどが必要である。(根本委員)

#### 自然環境保全の推進

#### 緑の保全・育成

- 「緑の保全・育成」を推進するにあたり、ここで行う取組は「森林整備」に絞り、「都市緑化運動」は「緑と憩いの拠点づくりの推進」の施策の対象とすることを検討されたい。(根本委員)

### (その他意見)

- 「緑の保全・育成」の施策指標について、良好な水と緑を創出することが目的であることから、緑地保全活動の参加人数ではなく、航空写真等を活用した面積の増減などすべきか検討する必要がある。(中村委員)
- 施策名について、「快適な河川環境の創出」は「治水対策の推進」に、「自然環境保全の推進」は「河川環境の保全・育成」に、「緑の保全・育成」は「森林の環境保全・育成」にそれぞれ名称変更することを検討されたい。(根本委員)
- 施策名について、「良好な水と緑の環境を創出する」「上下水道サービスの質を

高める」「機能的で魅力ある都市空間を形成する」と「農林業の付加価値を高める」「日常生活の安心感を高める」は、いずれも「環境」と「生命維持」に関わる施策であることから、同一分科会で検討した方がよいのではないか。

- 満足度のアンケートについて、項目や質問方法に課題があり、また対象人数が少ないこともあり、このアンケート結果を全てそのまま受け入れることはできないことから、「参考程度」に留めて置くべきかもしれない。また、一定数以上の市民が「不満」との意思表示をしているものについて、総合評価とはいえ、「政策の達成度A」としてよいものかについては、やや疑問である。

### 3 上下水道サービスの質を高める

#### (総括意見)

#### (施策の重要性や課題などに関する意見)

##### 水道水の安心給水の推進

- 水道水の給水について、市民意識調査では年齢別では20～40歳代、地域別では上河内・河内地域の不満足度が高いことから、その理由について明確にして改善する必要がある。(根本委員)
- 安心安全な水道水を供給するにあたり、宇都宮市内の水道施設の整備だけでなく、荒廃・開発により水源林の保全が妨げられないよう、市内市外を問わず積極的に関与していく必要がある。(根本委員)
- 消費者が安心して水道水を使用できるよう、水道水の放射能モニタリングの継続的な実施とモニタリング結果の迅速な公開を行う必要がある。(根本委員)

##### 下水の適正処理の推進

- 下水対策に係る政策では、市の財政負担が小さく、地元業者の育成にもつながる合併浄化槽の設置促進を行うことが考えられる。(根本委員)

##### 上下水道施設・資源による環境保全の推進

- 本施策における取組内容と、「地球温暖化対策の推進」の施策における取組内容の関係性について、様々な市有施設があるにも関わらず、ここで水道施設に関する取組のみを特出することに違和感を感じることから、施策の体系について検討する必要がある。(根本委員・増淵委員)

##### 顧客重視経営の推進

- 顧客を重視した経営を推進することは必要なことだが、市行政の効率化などの観点から、「上下水道サービスの質を高める」という括りではなく、「持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために」の柱の中で検討されることが必要である。(根本委員)

#### 4 快適な住環境を創出する

##### (総括意見)

- 「快適な住環境を創出する」の基本施策については、一定の達成状況にあるが、少子高齢社会の進展や、社会情勢の変化、ライフスタイルの多様化などに対応できる「快適な住宅の供給と取得支援の充実」や「居住環境の向上」などに取り組んでいくとともに、安全安心な住環境意識の高まりなどに対応できる「住宅の安全性・環境性の向上」により一層取り組んでいくことが必要である。(酒井委員・根本委員・三宅委員・横尾委員)

##### (施策の重要性や課題などに関する意見)

###### 快適な住宅の供給と取得支援の充実

- 住宅施策について、中心市街地活性化のための若年夫婦世帯に対しての家賃補助が実施されているが、市民の多様なライフスタイルを踏まえ、高齢者への支援も含め、市域全体にバランスよく住宅供給や取得支援策を展開していく必要がある。(三宅委員)
- 快適な住宅の供給と取得支援の充実について、市民意識調査では20歳代男性の不満度が極めて高いものとなっているので、まずその問題を明らかにし、有効な対策を講じていく必要がある。(根本委員)

###### 住宅の安全性・環境性の向上

- 課題に住宅の耐震化があるが、国のシステムにとらわれず、耐震化に係る市民の費用負担や生活の事情などを勘案し、例えば、寝室だけ耐震化するなどといった、柔軟な支援制度が必要と考えられる。(酒井委員)
- 住宅の耐震性については、施策目標として位置付けられているが、住宅の環境性能についても同程度の施策目標を位置付ける必要があると考えられる。(横尾委員)
- 住宅施策について、施策の体系が「住宅の安全性・環境の向上」に位置づけられているが、市民意識調査では取組状況が見えないとの意見が多いことなどから、市民にわかりやすくするためにも、施策名を「住宅の安全性の向上」と「住宅の環境性の向上」の2つにわけるとを検討されたい。さらに、「住宅の安全性の向上」では耐震性能向上のための改築への補助、「住宅の環境性の向上」では断熱性能向上等のための改築への補助・太陽電池等の設置補助などを行っていくことを検討されたい。(根本委員)

###### 居住環境の向上

- 中心市街地における集合住宅の立地が増加する中、こうした集合住宅の近隣における生活環境が十分でないケースもあり、居住者の長期的な定住に結びつかないことが懸念されることから、中心市街地及びその近傍での集合住宅に関する環境整備・向上策やコミュニティ強化策などを講じる必要があると考えられる。(横

尾委員)

(その他意見)

- 「快適な住環境」が創出されているかどうかの目安として、日照・風通し・景観の向上などが相応しいものと考えられるので、指標等の設定の際に検討されたい。

(根本委員)

- 「居住環境の向上」について、地区計画導入地区数が施策指標となっているが、これに限定せず、総合的に居住環境の向上を図る上での施策評価が必要と考えられる。(横尾委員)

都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために

## 1 機能的で魅力のある都市空間を形成する

### (総括意見)

- 「機能的で魅力のある都市空間を形成する」の基本施策については、ネットワーク型コンパクトシティの実現化に向けて具体的な施策を構築することが必要であり、その各拠点に存在する公園は、平常時に加え、災害時には市民の避難場所となるなど防災上重要な役割を持たせる必要がある。
- また、景観については、景観形成重点地区の指定をしているが、市民満足度や重要度が低いため、市民との連携・協力により、地域の特性に応じた保全・創出が必要である。(根本委員・横尾委員)

### (施策の重要性や課題などに関する意見)

#### 地域特性に応じた土地利用の推進

- 市が構想する「ネットワーク型コンパクトシティ」については、拠点形成にかかる考え方等が市民の意向と合致しているのか確認した上で、それぞれの拠点における機能・役割分担を明確にして開発を進めていく必要がある。(根本委員)

#### 都市機能の適正配置と機能間連携の推進

- 幹線道路の整備については、今後自動車数の増加が見込めず、既設の道路整備の費用負担が増加する見込みであることから、今後は既設道路の保守及び、LRTなどの公共交通や自転車道の整備など環境にやさしい街づくりを中心に進めていく必要がある。(根本委員)
- 「ネットワーク型コンパクトシティ」の拠点形成に際して、具体的にどのような拠点を形成するかについて市、市民、事業者が共同で検討するようなプロセスを検討する必要がある。(横尾委員)
- 市街地再開発事業においては、エネルギー消費削減やCO2削減などの環境配慮、省エネルギー対策が促進されるような取組を行う必要がある。(横尾委員)

#### 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成

- 市街地再開発事業においては、エネルギー消費削減やCO2削減などの環境配慮、省エネルギー対策が促進されるような取組を行う必要がある。(横尾委員)
- 中心市街地の活性化策として、中心部に流入した居住者の意識調査などを行い、都心居住促進に関する施策を検討することが必要である。(横尾委員)

#### 緑と憩いの拠点づくりの推進

- 市中心部における公園、緑地、水辺などの整備計画については、平常時利用と災害時利用を踏まえた配置計画、利用計画等を検討する必要がある。(横尾委員)
- 公園整備について、市民一人当たりの公園面積の目標を達成しているが、遊具の老朽化への対応等公園の質的な側面への対応が不足しているので、質の向上を行う必要がある。(横尾委員)

## 都市景観の保全・創出

- 「都市景観基本計画」や市の策定する「景観計画」等については、効果的、効率的な景観づくりを進めるためにも、計画内容が市民の意向と合致しているのか検証し、例えば景観を保全する地域や新たな景観を創出する地域などの区域分けの考え方を明確にして保全・創出を進めていく必要がある。（根本委員）
- 市民の認知度を上げるために、中心地の景観保全、住宅地の景観保全、農村地の景観保全など、メリハリをつけて景観の保全を進めながら周知・PR等を推進していく必要がある。（根本委員）

## （その他意見）

- 評価について、各施策指標の達成度が極めて高いにもかかわらず市民満足度が低いものが見受けられるので、十分検証を行う必要がある。（三宅委員）
- 評価について、設定された施策指標と基本政策達成との関連性が弱いものも見受けられることから、施策指標の見直しを検討する必要がある。（三宅委員）
- 基本政策の達成状況について、市民が実感できないものが見受けられるので、成果を市民に伝える手法を改善することが必要である。（三宅委員）
- 評価方法について施策指標だけで評価を行えばA評価は妥当であるが、施策指標が実社会のニーズと合致しておらず、評価結果が高すぎるものが見受けられるので、施策指標について見直す必要がある。（横尾委員）
- 「地域特性に応じた土地利用の推進」について、不満度が年齢低下にともなって増加している状況であり、20歳代では45.0%に達している。とりわけ東部地域では47.1%と高くなっている。若年層は活発な都市の象徴であることから、こうした層の不満をより積極的に改善していくことが必要である。（根本委員）
- 指標の設定について、「地域特性に応じた土地利用の推進」の指標は、「都市計画・農地保全・地区計画に対する市民の満足度」「都市計画・農地保全・地区計画に対する市民の認知度」「都市計画・農地保全・地区計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）
- 「都市機能の適正配置と機能間連携の推進」について、不満度は、20歳代から40歳代の若年層では42.5～45.2%に達し、とりわけ東部地域では47.1%と高くなっている。若年層は活発な都市の象徴であることから、こうした層の不満をより積極的に改善していく必要がある。（根本委員）
- 指標の設定について、「都市機能の適正配置と機能間連携の推進」の指標は、「現在の市街地再開発計画・土地区画整理計画・幹線道路の整備計画に対する市民の満足度」「現在の市街地再開発計画・土地区画整理計画・幹線道路の整備計画に対する市民の認知度」「現在の市街地再開発計画・土地区画整理計画・幹線道路の整備計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）
- 評価について、「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」の満足度が、東部

地域と南部地域でやや高くなっている（23.5～23.1%）一方、本庁（都心）・本庁（周辺）地域では不満度が47.7%と高くなっている。この地域に宇都宮駅・雀宮駅・岡本駅周辺が含まれるのか、各地域での開発が市民の満足度上昇に寄与しているのかの検証をする必要がある。（根本委員）

- 指標の設定について、「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」の指標は、「現在の都市拠点形成計画・地域拠点の形成計画・生活拠点の機能性向上計画に対する市民の満足度」「現在の都市拠点形成計画・地域拠点の形成計画・生活拠点の機能性向上計画に対する市民の認知度」「現在の都市拠点形成計画・地域拠点の形成計画・生活拠点の機能性向上計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）
- 「緑と憩いの拠点づくりの推進」について、市民満足度調査結果から公園の整備状況については十分であるとはいえない状況であり、特に、河内地区における不満度が65.5%と高いことから、その理由を十分分析した上で、この地域への必要な取組を行う必要がある。（根本委員）
- 指標の設定について、「緑と憩いの拠点づくりの推進」の指標は、「現在の公園整備計画に対する市民の満足度」「現在の公園整備計画に対する市民の認知度」「現在の公園整備計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）
- 指標の設定について、「都市景観の保全・創出」の指標は、「現在の景観の保全・創出計画に対する市民の満足度」「現在の景観の保全・創出計画に対する市民の認知度」「現在の景観の保全・創出計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）
- 指標の設定について、「人や環境にやさしい交通環境の創出」の指標は「ノンステップバスの導入率」に加え、「点字ブロックの整備率」と「自転車道の整備率」を加えることを検討されたい。（根本委員）
- 指標の設定について、「市民生活の情報化の推進」の指標に「情報回線の質と量の向上率（ブロードバンド回線における光ファイバーの割合など）」に加え、「市および公共機関におけるIT化の実施率（申請書類の何%が電子化割合など）」と「市民のIT利用率（アンケート結果など）」「市民のIT理解率（講習会の参加者数など）」を加えることを検討されたい。（根本委員）

## 2 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する

### （総括意見）

- 「円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する」の基本施策については、高齢社会の到来や環境にやさしい社会を構築する上で、交通政策と情報化を組み合わせた路線バスの利便性の向上を図るなど、「公共交通ネットワークの充実」

などの「ひとや環境にやさしい交通環境の創出」を行う必要がある。(根本委員・三宅委員・横尾委員)

(施策の重要性や課題などに関する意見)

#### 公共交通ネットワークの充実

- 利用者の利便性向上を図るため、リアルタイムでバスがどこを運行しているのかをわかるようにするなど、交通政策と情報化の組み合わせについて検討する必要がある。(横尾委員)
- 路線バスの利便性の向上が急務であり、拠点間をつなぐ環状路線の設置とICTを駆使した乗換利便性の向上、乗換による運賃アップを抑える方策の導入などを検討する必要がある。(三宅委員)
- 路線バスの利用者を増やしていくことについては、年々確実に利用者数が下がっていることから、今後5年間で達成する見込みが困難な状況である。抜本的な対策を講じる必要がある。(三宅委員)
- 市が構想する「ネットワーク型コンパクトシティ」については、拠点形成にかかる考え方等が市民の意向と合致しているのか確認した上で、各中心地域を結ぶLRT等やバス路線に集中投資する一方、中心地域と遠隔地域を結ぶ乗り合いタクシー等の導入推進を進めていく必要がある。(根本委員)
- LRTやバスの運営に際しては、ICT技術を活用することにより乗り継ぎなどの利便性向上を図るとともに、市内事業者へのバス路線の積極利用の呼び掛け(あるいはバス通勤の義務化)を行うことによりバス収益性を確保していくことが必要である。(根本委員)
- 公共交通の利用率向上のためには、駅やバス停に自転車置き場を整備することにより、公共交通機関と自転車間の乗り継ぎ性改善を図っていく必要がある。(根本委員)

#### 道路ネットワークの充実

- 道路整備については、整備率が高くても市民満足度が低いことから、その理由を明らかにし、満足度を高められるよう整備される必要がある。(根本委員)

#### ひとや環境にやさしい交通環境の創出

- バスからの排気ガスおよび騒音は都市環境の悪化を誘発するので、こうした問題に対する取組を行うことが必要である。(横尾委員)
- 施策の名称について、1つの施策に全く異なる概念が入っていることから、「人にやさしい交通の創出」(点字ブロック・ノンステップバス)と「環境にやさしい交通環境の創出」(自転車道)に分ける必要がある。(根本委員)
- 自転車のさらなる利用率向上を図っていくためには、自転車道を自動車道や歩道の付帯物として考えるのではなく、歩道や自転車道の付帯物として自動車道を位置付けるといった意識の転換をする必要がある。(根本委員)

### 3 高度情報化の恩恵を享受できる環境づくりを推進する

#### (総括意見)

- 「高度情報化の恩恵を享受できる環境づくりを推進する」の基本施策については、携帯電話やスマートフォン、高速通信網の普及など、ハード面の整備が民間事業者により今後も発展していくと考えられるので、ソフト面について、市民が活用しやすく生活に密着した形の「市民生活の情報化の推進」をしていく必要がある。(根本委員・横尾委員)

#### (施策の重要性や課題などに関する意見)

##### 市民生活の情報化の推進

- 「ネットワーク型コンパクトシティ」を目指すのであれば、地域の情報は、身近な地区センターが各地区の拠点となった情報発信体系をつくり、各拠点の情報共有を進めていく必要がある。(横尾委員)
- ICTを活用した都市規模でのエネルギーシステムやインフラ管理などを行う、スマートシティ構想などが各地で取り込まれつつあり、このような観点からの取組を行う必要がある。(横尾委員)
- 情報基盤の安定化を図るため、災害時、停電時でも機能する都市インフラ、情報通信システムを構築する必要がある。(横尾委員)
- 市民にとっての高度情報化や市が構想する「市民生活の情報化」がどのようなイメージなのかを明確にしたうえで、市民へのアピールや分かりやすい取組を講じることが必要である。(根本委員)
- 公共施設におけるタッチパネル式の情報端末は、各人に携帯端末やパソコンが普及している環境では、費用対効果が不透明であることから、取組内容を十分検証し、市民のニーズに合った取組を行うことが必要である。(横尾委員)
- 市民生活における更なる情報化の推進について、市民や来訪者が必要とする情報コンテンツのニーズ把握や、ICT、SNSを活用したコミュニティ形成、市民参加のまちづくりの検討を行ったうえで、市民ニーズに合った情報基盤の整備を行うことが必要である。(横尾委員)
- 市のホームページにおいて外国語への対応が行われているが、必要な情報を外国の人々に提供するには改善の余地が多くあり、特に、観光、交通についてはさらに充実することが必要である。(横尾委員)
- 施策名については、昨今のICT化の促進、ニーズの高まりなど、対応する分野も多様化してきていることから、そうしたニーズに対応するため、例として、「情報回線」「市および公共機関におけるIT化」「市民のIT利用の質と量の向上」の3つに施策を分割するなどを検討されたい。(根本委員)

##### 地域産業の情報化の推進

- 市が構想する「地域産業の情報化」がどのようなイメージなのかを明確にしたうえで、市民へのアピールや分かりやすい取組を講じることが必要である。（根本委員）

# 分野別計画における施策等の体系

# 主な意見

# 別紙

| 施策の大綱<br>(柱)：6 | 番号 | 政策(基本<br>策)：25                  | 番号 | 施策<br>：91                 | 主要な事業                  | 総括意見（基本施策）                                                                                                                                                                                                                                                     | 施策の重要性や課題などに関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | その他意見                                                                                                                                                                                                          | ポイント・<br>キーワード等                              |
|----------------|----|---------------------------------|----|---------------------------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|
|                | 1  | 脱温暖化・循環型の環境に<br>やさしい社会<br>を形成する | 1  | 環境保全行動<br>の推進             | 環境情報の整備と提供 など          | ● 「脱温暖化・循環型の環境にやさしい社会を形成する」の基本施策については、今後ますます地球温暖化対策に係る自治体の取組が重要になってくる中、CO2排出量等の客観的なデータを踏まえながら、各施策・事業を推進していく必要がある。(横尾委員)<br>● また、各施策における取組に意識啓発事業などがあるが、各事業に係る具体的なCO2排出量削減等の効果を明確化する必要がある。さらに、今後のエネルギー問題を鑑み、エネルギー消費の抑制や再生可能エネルギー導入促進により一層取り組んでいくことが必要である。(横尾委員) | ● 市民意識調査結果において、女性の満足度が高いのに対し、男性の満足度は低く、男性より女性の方が環境保全活動に関わっている可能性があることから、今後、企業や小中学校等と連携した男性の環境保全活動への参画に係る取組が重要である。(根本委員)<br>● 環境保全行動を推進させていくにあたり、「社員が環境保全活動に関わっている会社の表彰制度」や「市内の小中学校で『父親との環境保全活動』を宿題にする」などの取組が考えられる。(根本委員)<br>● 高効率機器、省エネ機器設置に関する補助等が行われているが、住宅などの建築物全体に係るエネルギー性能の向上、CO2排出量の削減に関する取組が必要である。(横尾委員)<br>● 温暖化対策に係る取組については、取組成果の出現が中長期的であることから、例として「市民の誰もがわかるような、市のエネルギーの数%を賄うような超大型の自然エネルギー発電システムを設置する」「自然エネルギー豊富な市町村と、ニュースになるくらい大量の自然エネルギー電力取引契約を行う」など、取組状況が市民に可視化できるような取組を検討していくことが必要である。(根本委員) | ● 地球温暖化対策に対する市民意識調査結果が判明した時点で、これに対する市の取組を決めるべきであることから、迅速に反映できるよう、個別のアンケート調査や市民満足度のとり方を十分に検討する必要がある。(根本委員)<br>● 「廃棄物の適正処理の推進」における施策目標について、不法投棄の発生件数は減少していることがわかるが、全体の不法投棄の総量が把握できないことから、指標のとり方を検討する必要がある。(中村委員) | ・企業や小中学校等と連携した男性の環境保全活動への参画<br>・環境保全行動の一層の推進 |
|                |    |                                 | 2  | 地球温暖化対策<br>の推進            | もったいない全国大会などによる普及啓発 など |                                                                                                                                                                                                                                                                | ● 市民意識調査の手法について、対象者や設問の設定のなど、一般市民が市の政策を考えるきっかけに活用できるようなものにしたい。<br>● 評価について、施策目標に対し、市の取組内容の妥当性が見極めにくいことから、市民の意識と市の取組のギャップを把握する必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ・住宅等の建築物全体にかかるエネルギー性能の向上<br>・CO2排出量の削減<br>・温暖化対策にかかる取組の可視化                                                                                                                                                     |                                              |
|                |    |                                 | 3  | ごみの発生抑制、減量化、資源化の推進(3Rの推進) | 新たな資源化事業の導入 など         |                                                                                                                                                                                                                                                                | ● 市民意識調査の対象者については、毎年異なるため、経年の満足度を把握するために、一定期間同じ対象者に調査を行うことが必要である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | ・ごみ減量化や分別に係る意識向上<br>・家庭ごみの排出量減少<br>・家庭ごみの有料化<br>・ごみの出ない環境づくり                                                                                                                                                   |                                              |
|                |    |                                 | 4  | 廃棄物の適正<br>処理の推進           | 効率的な収集・中間<br>処理の推進 など  |                                                                                                                                                                                                                                                                | ● 市民満足度について、宇都宮市全体として一色単にせず、地区別などの属性ごとに分析し、重点的に取組を進めるべきターゲットを絞っていく必要がある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ・放射性物質への対応<br>・不法投棄の監視<br>・罰則<br>・周知                                                                                                                                                                           |                                              |
|                |    |                                 | 5  | 良好な生活環境<br>の確保            | 大気汚染、水質汚濁、騒音等の監視の強化 など |                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | ・放射性物質への対応<br>・満足度が低いことへの対応                                                                                                                                                                                    |                                              |

|                    |                |                |   |                     |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                               |
|--------------------|----------------|----------------|---|---------------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために | 2              | 良好な水と緑の環境を創出する | 1 | 快適な河川環境の創出          | 河川整備事業 など            | <ul style="list-style-type: none"><li>● 「良好な水と緑の環境を創出する」の基本施策については、都市化の進展や昨今の異常気象などにより、豪雨時の溢水被害に対応できる河川環境の創出や、生物多様性の観点などから、自然環境の保全を進めていく必要がある。（三宅委員）</li><li>● さらに、都市化が進む中、良好な水と緑を創出し、市民が身近に自然と親しめる環境を創出することが大切であることから、「緑の保全・育成」の取組についてより一層推進していく必要がある。（三宅委員）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 河川水の環境基準評価については、平成13年度から一部未達成の河川が固定化されていることから、具体的な対策が必要である。（三宅委員）</li><li>● 「良好な水と緑の環境を創出する」ためには、市が構想する「川づくりがどういふものなのか」を強く打ち出し、それが市民の意向と合致しているのか確認した上で、整備を進めていくことが必要であり、特に、遊泳可能な川に戻すことを目標とされたい。また、開発にあたり、葦原や生態系の保護、環境保全型護岸への切り替えなどが必要である。（根本委員）</li></ul>                               | <ul style="list-style-type: none"><li>● 「緑の保全・育成」の施策指標について、良好な水と緑を創出することが目的であることから、緑地保全活動の参加人数ではなく、航空写真等を活用した面積の増減などすべきか検討する必要がある。（中村委員）</li><li>● 施策名について、「快適な河川環境の創出」は「治水対策の推進」に、「自然環境保全の推進」は「河川の環境保全・育成」に、「緑の保全・育成」は「森林の環境保全・育成」にそれぞれ名称変更することを検討されたい。（根本委員）</li><li>● 施策名について、「良好な水と緑の環境を創出する」「上下水道サービスの質を高める」「機能的で魅力ある都市空間を形成する」と「農林業の付加価値を高める」「日常生活の安心感を高める」は、いずれも「環境」と「生命維持」に関わる施策であることから、同一分科会で検討した方がよいのではないかと。</li><li>● 満足度のアンケートについて、項目や質問方法に課題があり、また対象人数が少ないこともあり、このアンケート結果を全てそのまま受け入れることはできないことから、「参考程度」に留めて置くべきかもしれない。また、一定数以上の市民が「不満」との意思表示をしているものについて、総合評価とはいえず、「政策の達成度A」としてよいものかについては、やや疑問である。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・河川水の環境基準評価の見直し</li><li>・市民意向の確認</li><li>・遊泳可能な河川回帰</li><li>・葦原や生態系の保護</li><li>・環境保全型護岸への切り替え</li></ul> |
|                    |                |                | 2 | 自然環境保全の推進           | 自然環境の保全、保護啓発事業の実施 など |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                               |
|                    |                |                | 3 | 緑の保全・育成             | 緑地・樹林地等の保全 など        |                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>● 「緑の保全・育成」を推進するにあたり、ここで行う取組は「森林整備」に絞り、「都市緑化運動」は「緑と憩いの拠点づくりの推進」の施策の対象とすることを検討されたい。（根本委員）</li></ul>      |
| 3                  | 上下水道サービスの質を高める |                | 1 | 水道水の安心給水の推進         | 災害や事故に強い水道の整備 など     |                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 水道水の給水について、市民意識調査では年齢別では20～40歳代、地域別では上河内・河内地域の不満度が高いことから、その理由について明確にして改善する必要がある。（根本委員）</li><li>● 安心安全な水道水を供給するにあたり、宇都宮市内の水道施設の整備だけでなく、荒廃・開発により水源林の保全が妨げられないよう、市内市外を問わず積極的に関与していく必要がある。（根本委員）</li><li>● 消費者が安心して水道水を使用できるよう、水道水の放射能モニタリングの継続的な実施とモニタリング結果の迅速な公開を行う必要がある。（根本委員）</li></ul> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・給水についての不満への対応</li><li>・安心安全な水道水の供給</li><li>・水道水の放射能モニタリングの継続的実施</li><li>・モニタリング結果の迅速な公開</li></ul>      |
|                    |                |                | 2 | 下水の適正処理の推進          | 合流式下水道の機能改善 など       |                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 下水対策に係る政策では、市の財政負担が小さく、地元業者の育成にもつながる合併浄化槽の設置促進を行うことが考えられる。（根本委員）</li></ul>                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・合併浄化槽の設置促進</li></ul>                                                                                   |
|                    |                |                | 3 | 上下水道施設・資源による環境保全の推進 | 下水汚泥等の有効活用 など        |                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 本施策における取組内容と、「地球温暖化対策の推進」の施策における取組内容の関係性について、様々な市有施設があるにも関わらず、ここで水道施設に関する取組のみを特出することに違和感を感じることから、施策の体系について検討する必要がある。（根本委員・増渕委員）</li></ul>                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・施策体系の位置付けの検討</li></ul>                                                                                 |
|                    |                |                | 4 | 顧客重視経営の推進           | マーケティング調査の強化 など      |                                                                                                                                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"><li>● 顧客を重視した経営を推進することは必要なことだが、市行政の効率化などの観点から、「上下水道サービスの質を高める」という括りではなく、「持続的発展が可能な都市の自治基盤を確立するために」の柱の中で検討されることが必要である。（根本委員）</li></ul>                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"><li>・柱の位置付けの検討</li></ul>                                                                                    |

|   |             |   |                  |                        |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                |
|---|-------------|---|------------------|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | 快適な住環境を創出する | 1 | 快適な住宅の供給と取得支援の充実 | 都心居住促進事業など             | <p>● 「快適な住環境を創出する」の基本施策については、一定の達成状況にあるが、少子高齢社会の進展や、社会情勢の変化、ライフスタイルの多様化などに対応できる「快適な住宅の供給と取得支援の充実」や「居住環境の向上」などに取り組んでいくとともに、安全安心な住環境意識の高まりなどに対応できる「住宅の安全性・環境性の向上」により一層取り組んでいく必要がある。（酒井委員・根本委員・三宅委員・横尾委員）</p> | <p>● 住宅施策について、中心市街地活性化のための若年夫婦世帯に対しての家賃補助が実施されているが、市民の多様なライフスタイルを踏まえ、高齢者への支援も含め、市域全体にバランスよく住宅供給や取得支援策を展開していく必要がある。（三宅委員）</p> <p>● 快適な住宅の供給と取得支援の充実について、市民意識調査では20歳代男性の不満度が極めて高いものとなっているので、まずその問題を明らかにし、有効な対策を講じていく必要がある。（根本委員）</p> <p>● 課題に住宅の耐震化があるが、国のシステムにとらわれず、耐震化に係る市民の費用負担や生活の事情などを勘案し、例えば、寝室だけ耐震化するなどといった、柔軟な支援制度が必要と考えられる。（酒井委員）</p> <p>● 住宅の耐震性については、施策目標として位置付けられているが、住宅の環境性能についても同程度の施策目標を位置付ける必要があると考えられる。（横尾委員）</p> <p>● 住宅施策について、施策の体系が「住宅の安全性・環境の向上」に位置づけられているが、市民意識調査では取組状況が見えないとの意見が多いことなどから、市民にわかりやすくするためにも、施策名を「住宅の安全性の向上」と「住宅の環境性の向上」の2つに分けることを検討されたい。さらに、「住宅の安全性の向上」では耐震性能向上のための改築への補助、「住宅の環境性の向上」では断熱性能向上等のための改築への補助・太陽電池等の設置補助などを行っていくことを検討されたい。（根本委員）</p> <p>● 中心市街地における集合住宅の立地が増加する中、こうした集合住宅の近隣における生活環境が十分でないケースもあり、居住者の長期的な定住に結びつかないことが懸念されることから、中心市街地及びその近傍での集合住宅に関する環境整備・向上策やコミュニティ強化策などを講じる必要があると考えられる。（横尾委員）</p> | <p>● 「快適な住環境」が創出されているかどうかの目安として、日照・風通し・景観の向上などが相応しいものと考えられるので、指標等の設定の際に検討されたい。（根本委員）</p> <p>● 「居住環境の向上」について、地区計画導入地区数が施策指標となっているが、これに限定せず、総合的に居住環境の向上を図る上での施策評価が必要と考えられる。（横尾委員）</p> | <p>・住宅供給や取得支援策の展開<br/>・市民意識調査での不満に対する有効な対策</p> <p>・柔軟な耐震化支援制度<br/>・住宅の環境性能の施策目標への位置付け<br/>・施策名の検討<br/>・耐震性能向上のための改築補助<br/>・断熱性能向上等のための改築補助<br/>・太陽電池等の設置補助</p> <p>・集合住宅の環境整備・向上策やコミュニティ強化策</p> |
|   |             | 2 | 住宅の安全性・環境性の向上    | 住宅・建築物の耐震化促進、普及啓発事業 など |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                |
|   |             | 3 | 居住環境の向上          | 市街地再開発事業の促進 など         |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                |
|   |             |   |                  |                        |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                |

分野別計画における施策等の体系

主な意見

別紙

| 施策の大綱<br>(柱) : 6 | 番号 | 政策(基本施策) : 2 5 | 番号 | 施策 : 9 1           | 主要な事業          | 総括意見 (基本施策) | 施策の重要性や課題などに関する意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | その他意見                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | ポイント・キーワード等                                                                                                                              |
|------------------|----|----------------|----|--------------------|----------------|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                  |    |                | 1  | 地域特性に応じた土地利用の推進    | 地区計画制度等の活用 など  |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市が構想する「ネットワーク型コンパクトシティ」については、拠点形成にかかる考え方等が市民の意向と合致しているのか確認した上で、それぞれの拠点における機能・役割分担を明確にして開発を進めていく必要がある。(根本委員)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 評価について、各施策指標の達成度が極めて高いにもかかわらず市民満足度が低いものが見受けられるので、十分検証を行う必要がある。(三宅委員)</li> <li>● 評価について、設定された施策指標と基本政策達成との関連性が弱いものも見受けられることから、施策指標の見直しを検討する必要がある。(三宅委員)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点の機能・役割分担の明確化</li> </ul>                                                                        |
|                  |    |                | 2  | 都市機能の適正配置と機能間連携の推進 | 市街地再開発事業の促進 など |             | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 幹線道路の整備については、今後自動車数の増加が見込めず、既設の道路整備の費用負担が増加する見込みであることから、今後は既設道路の保守及び、LRTなどの公共交通や自転車道の整備など環境にやさしい街づくりを中心に進めていく必要がある。(根本委員)</li> <li>● 「ネットワーク型コンパクトシティ」の拠点形成に際して、具体的にどのような拠点を形成するかについて市、市民、事業者が共同で検討するようなプロセスを検討する必要がある。(横尾委員)</li> <li>● 市街地再開発事業においては、エネルギー消費削減やCO2削減などの環境配慮、省エネルギー対策が促進されるような取組を行う必要がある。(横尾委員)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基本政策の達成状況について、市民が実感できないものが見受けられるので、成果を市民に伝える手法を改善することが必要である。(三宅委員)</li> <li>● 評価方法について施策指標だけで評価を行えばA評価は妥当であるが、施策指標が実社会のニーズと合致しておらず、評価結果が高すぎるものが見受けられるので、施策指標について見直す必要がある。(横尾委員)</li> <li>● 「地域特性に応じた土地利用の推進」について、不満足が年齢低下にともなって増加している状況であり、20歳代では45.0%に達している。とりわけ東部地域では47.1%と高くなっている。若年層は活発な都市の象徴であることから、こうした層の不満をより積極的に改善していくことが必要である。(根本委員)</li> <li>● 指標の設定について、「地域特性に応じた土地利用の推進」の指標は、「都市計画・農地保全・地区計画に対する市民の満足度」「都市計画・農地保全・地区計画に対する市民の認知度」「都市計画・農地保全・地区計画の遂行度」とすることを検討されたい。(根本委員)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・既設道路の保守、公共交通・自転車道の整備</li> <li>・拠点形成の市、市民、事業者の共同検討</li> <li>・市街地再開発事業における環境配慮、省エネルギー対策</li> </ul> |

1 機能的で魅力のある都市空間を形成する

|   |                    |                 |
|---|--------------------|-----------------|
| 3 | 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成 | 宇都宮駅東口地区整備事業 など |
| 4 | 緑と憩いの拠点づくりの推進      | 河内総合運動公園整備事業 など |

● 「機能的で魅力のある都市空間を形成する」の基本施策については、ネットワーク型コンパクトシティの実現化に向けて具体的な施策を構築することが必要であり、その各拠点に存在する公園は、平常時に加え、災害時には市民の避難場所となるなど防災上重要な役割を持たせる必要がある。  
● また、景観については、景観形成重点地区の指定をしているが、市民満足度や重要度が低いため、市民との連携・協力により、地域の特性に応じた保全・創出が必要である。(根本委員・横尾委員)

|                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| <p>● 市街地再開発事業においては、エネルギー消費削減やCO2削減などの環境配慮、省エネルギー対策が促進されるような取組を行う必要がある。(横尾委員)</p> <p>● 中心市街地の活性化策として、中心部に流入した居住者の意識調査などを行い、都心居住促進に関する施策を検討することが必要である。(横尾委員)</p>                   | <p>● 「都市機能の適正配置と機能間連携の推進」について、不満足度は20歳代から40歳代の若年層では42.5～45.2%に達し、とりわけ東部地域では47.1%と高くなっている。若年層は活発な都市の象徴であることから、こうした層の不満をより積極的に改善していく必要がある。(根本委員)</p> <p>● 指標の設定について、「都市機能の適正配置と機能間連携の推進」の指標は、「現在の市街地再開発計画・土地区画整理計画・幹線道路の整備計画に対する市民の満足度」「現在の市街地再開発計画・土地区画整理計画・幹線道路の整備計画に対する市民の認知度」「現在の市街地再開発計画・土地区画整理計画・幹線道路の整備計画の遂行度」とすることを検討されたい。(根本委員)</p> <p>● 評価について、「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」の満足度が、東部地域と南部地域でやや高くなっている(23.5～23.1%)一方、本庁(都心)・本庁(周辺)地域では不満足度が47.7%と高くなっている。この地域に宇都宮駅・雀宮駅・岡本駅周辺が含まれるのか、各地域での開発が市民の満足度上昇に寄与しているのかの検証をする必要がある。(根本委員)</p> | <p>・市街地再開発事業における環境配慮、省エネルギー対策<br/>・都心居住促進施策の検討</p> |
| <p>● 市中心部における公園、緑地、水辺などの整備計画については、平常時利用と災害時利用を踏まえた配置計画、利用計画等を検討する必要がある。(横尾委員)</p> <p>● 公園整備について、市民一人当たりの公園面積の目標を達成しているが、遊具の老朽化への対応等公園の質的な側面への対応が不足しているので、質の向上を行う必要がある。(横尾委員)</p> | <p>● 指標の設定について、「地域特性を生かした魅力ある拠点の形成」の指標は、「現在の都市拠点形成計画・地域拠点の形成計画・生活拠点の機能性向上計画に対する市民の満足度」「現在の都市拠点形成計画・地域拠点の形成計画・生活拠点の機能性向上計画に対する市民の認知度」「現在の都市拠点形成計画・地域拠点の形成計画・生活拠点の機能性向上計画の遂行度」とすることを検討されたい。(根本委員)</p> <p>● 「緑と憩いの拠点づくりの推進」について、市民満足度調査結果から公園の整備状況については十分であるとはいえない状況であり、特に、河内地区における不満足度が65.5%と高いことから、その理由を十分分析した上で、この地域への必要な取組を行う必要がある。(根本委員)</p>                                                                                                                                                                                    | <p>・公園の災害時利用の検討<br/>・老朽遊具対応等の公園の質の向上</p>           |

|                                  |   |                        |             |                     |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                 |
|----------------------------------|---|------------------------|-------------|---------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために |   | 5                      | 都市景観の保全・創出  | 魅力ある都市景観づくり事業の推進 など |             | <ul style="list-style-type: none"><li>● 「都市景観基本計画」や市の策定する「景観計画」等については、効果的、効率的な景観づくりを進めるためにも、計画内容が市民の意向と合致しているのか検証し、例えば景観を保全する地域や新たな景観を創出する地域などの区域分けの考え方を明確にして保全・創出を進めていく必要がある。（根本委員）</li><li>● 市民の認知度を上げるために、中心地の景観保全、住宅地の景観保全、農村地の景観保全など、メリハリをつけて景観の保全を進めながら周知・PR等を推進していく必要がある。（根本委員）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 指標の設定について、「緑と緑の拠点づくりの推進」の指標は、「現在の公園整備計画に対する市民の満足度」「現在の公園整備計画に対する市民の認知度」「現在の公園整備計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）</li><li>● 指標の設定について、「都市景観の保全・創出」の指標は、「現在の景観の保全・創出計画に対する市民の満足度」「現在の景観の保全・創出計画に対する市民の認知度」「現在の景観の保全・創出計画の遂行度」とすることを検討されたい。（根本委員）</li><li>● 指標の設定について、「人や環境にやさしい交通環境の創出」の指標は「ノンステップバスの導入率」に加え、「点字ブロックの整備率」と「自転車道の整備率」を加えることを検討されたい。（根本委員）</li><li>● 指標の設定について、「市民生活の情報化の推進」の指標に「情報回線の質と量の向上率（ブロードバンド回線における光ファイバーの割合など）」に加え、「市および公共機関におけるIT化の実施率（申請書類の何％が電子化割合など）」と「市民のIT利用率（アンケート結果など）」「市民のIT理解率（講習会の参加者数など）」を加えることを検討されたい。（根本委員）</li></ul>                                                                                                                           | ・景観の保全創出の促進<br>・メリハリをつけた景観保全と周知・PR                                                                                              |
|                                  | 2 | 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する | 1           | 公共交通ネットワークの充実       | バス路線の維持存続など | <ul style="list-style-type: none"><li>● 「円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する」の基本施策については、高齢社会の到来や環境にやさしい社会を構築する上で、交通政策と情報化を組み合わせた路線バスの利便性の向上を図るなど、「公共交通ネットワークの充実」などの「ひとや環境にやさしい交通環境の創出」を行う必要がある。（根本委員・三宅委員・横尾委員）</li></ul>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"><li>● 利用者の利便性向上を図るため、リアルタイムでバスがどこを運行しているのかをわかるようにするなど、交通政策と情報化の組み合わせについて検討する必要がある。（横尾委員）</li><li>● 路線バスの利便性の向上が急務であり、拠点間をつなぐ環状路線の設置とICTを駆使した乗換利便性の向上、乗換による運賃アップを抑える方策の導入などを検討する必要がある。（三宅委員）</li><li>● 路線バスの利用者を増やしていくことについては、年々確実に利用者数下がっていることから、今後5年間で達成する見込みが困難な状況である。抜本的な対策を講じる必要がある。（三宅委員）</li><li>● 市が構想する「ネットワーク型コンパクトシティ」については、拠点形成にかかわる考え方等が市民の意向と合致しているのか確認した上で、各中心地域を結ぶLRT等やバス路線に集中投資する一方、中心地域と遠隔地域を結ぶ乗り合いタクシー等の導入推進を進めていく必要がある。（根本委員）</li><li>● LRTやバスの運営に際しては、ICT技術を活用することにより乗り継ぎなどの利便性向上を図るとともに、市内事業者へのバス路線の積極利用の呼び掛け（あるいはバス通勤の義務化）を行うことによりバス収益性を確保していく必要がある。（根本委員）</li><li>● 公共交通の利用率向上のためには、駅やバス停に自転車置き場を整備することにより、公共交通機関と自転車間の乗り継ぎ性改善を図っていく必要がある。（根本委員）</li></ul> | ・交通政策と情報化の組み合わせ検討<br>・路線バスの利便性向上<br>・路線バス利用者の減少に対する対策<br>・公共交通への集中投資と乗り合いタクシーの導入推進<br>・公共交通へのICT技術の活用と収益性の確保<br>・駅、バス停の自転車置き場整備 |
|                                  |   | 2                      | 道路ネットワークの充実 | スマートICの整備 など        |             | <ul style="list-style-type: none"><li>● 道路整備については、整備率が高くても市民満足度が低いことから、その理由を明らかにし、満足度を高められるよう整備される必要がある。（根本委員）</li></ul>                                                                                                                                                                         | ・満足度が向上する道路整備の検討                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                 |

- ・各地区を発信拠点とした情報体系の検討
- ・ICTを活用したエネルギーシステムやインフラ管理
- ・災害時、停電時でも機能する情報通信システムの構築
- ・市民生活の高度情報化のイメージの明確化と市民へのアミューブル
- ・費用対効果の検証
- ・市民ニーズに合った情報基盤の整備
- ・外国語への対応
- ・施策の分割